公害キャンペーン

特別資料編

各地区限定部数
本部内又は、キャンペーン活動の中心部が、地区活動又は、出版予約活動の資料として活用するもの
外に向けて公表するものにあらず！

公害キャンペーン実行委員会

Kaneyo. Shibata

函館市

日産化学（中小企業）　明治43年成立
（中小尚肥料
蔵業）
資本金　7億円
従業員　230人

被害：亜硫酸ガス（アーモニア）による上気道炎　血たん　ぜんそく　屋根のトタンがボロボロ
追分　北浜　港　三町に　被害集中
└ふくろ小路に　なっていて煙が集中　←　39年　住民団交

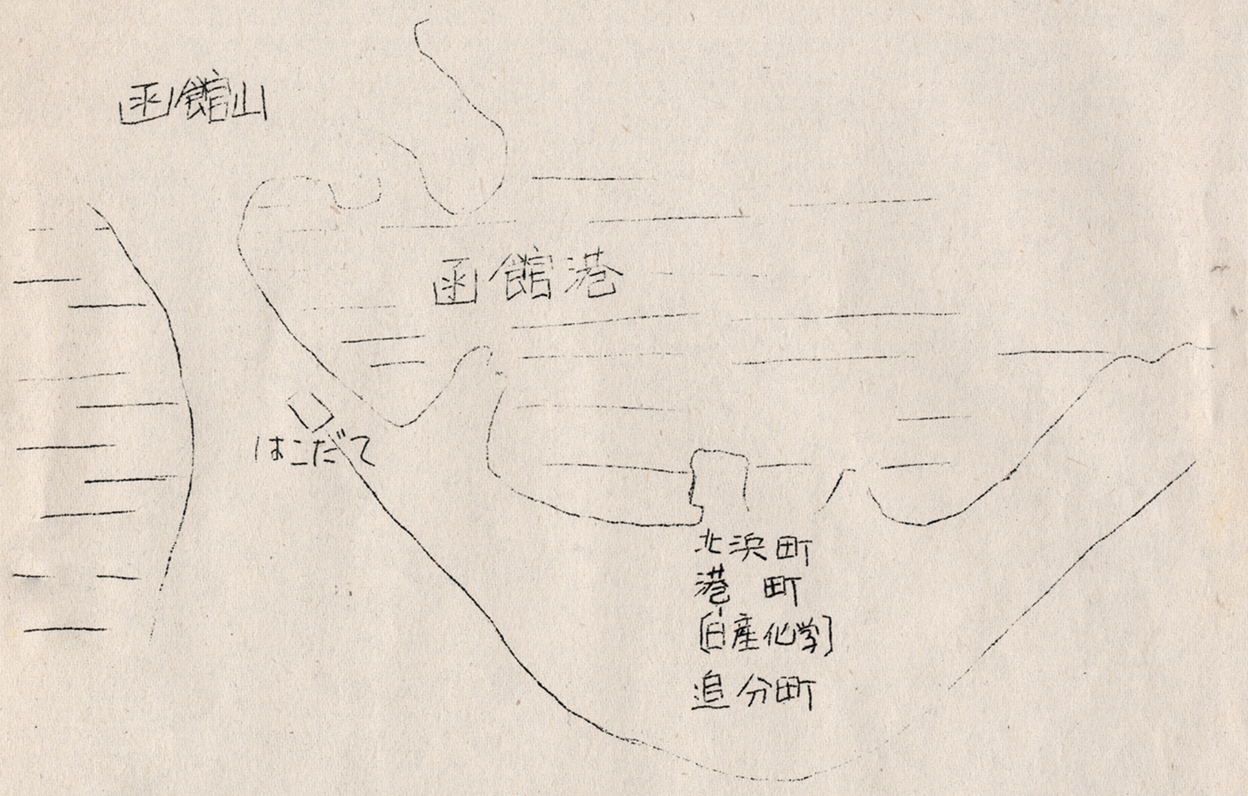
住民の反対運動：昭和45年春　主婦が会社にのり込む
〃　6月　第1回三者会議（住民・市・企業）
〃　7月25日　第2回　〃
〃　8月28日　第3回　〃　←公害を承認させる迄は工事をさせない事。
　　11月の亜硫酸ガス発生完了迄

工場は住民の動きに敏感。第3回三者会議以後　30　31日操業を止める。最初（5月頃）公害反対の署名約100人。現在　約20人の人が　動いている。

住民の声
〃　反対運動しているやつの中に　アカがいるんだ。"
〃　ここに住んだのが　運のつきですよ。"
〃　あっ臭い（アンモニア）がするといって　頭の帽子を口にあてて家の中に　かけこんでくるんですよ。"
〃　おれたちは、モルモットじゃないんだ。秋になると　黄いろい煙が　家の中に込ってきて、煙だなきゃ　いいんだけどそうも　いかないだろうし……

保健所長　――"せきが出るなら　番茶でうがいを　すればいい"
工場　　お前達が（被害をうったえた住民に対して）後にくんだから、文句があるんだったら、立ちのけ

一番被害のひどい追分町のまん中に　児童公園と　児童会館があり　その中で子供達があそぶ。ある被害者の家では窓にめばりをして夏でも戸を開めきったままでいなくてはならない。
疎開した家一戸あり
工場のとなりの路では　ひどい時には3m先が見えない。
労働組合の公害に対する動きなし



硫酸工場が開始したら健康診断を行いましょう。　その時に患者数がふえたなら亜硫酸ガスが　人体に害があると断言できます。

モルモットじゃあるまいし　毎年秋立くになって黄色いガスを出してそれでたいしたことがないからといって、また出されたんではたまらない。

――のどがいたければ番茶でうがいしましょうといったそうですね、それはどういうつもりでいったんですか？――
「どういうつもりもこうもないでしょ。だだ原因がわからずのどがいたいといえば　医者の立場としてうがいをしなさいというよりほかないでしょ。水よりも番茶ということですよ」
――でも　実際煙をすって血を　はいたり馬のようなせきをする子供がいるんですよ。――
「あなた　その子が血をはくところを　みたんですか。だいたいせきをするといっても煙のためかどうかわかりません。車の排気ガスでもせきが出ますし、花の花粉ね　あれでもでるんですよ。そういったら、ぜんぶが公害になりますよ。」

笠島さん(被害者)のことば

煙の出ているときに外に出ると、その夜に急にたおれて、息が
できずに ヒーヒーとのどをならし 手足をばたばたさせ
しろくろ こっちはびっくりしてどうしていいのかわからず
おろおろして 四、五さつたりするりとためでしょ 夏夜でも
近所の人を 起して病院をさがしてもらったけど どこもこてん
わられ やっとつれてくるなうみてやるっていうんですよ。その子の
なら はじめっから そういってくれればつれていったのに
ち 供がその間 ずっとその子供が死ぬかとハラハラしてたのに
たび に こんどはだめかとハラハラしどうしです。医者にみせるん
とで す。煙の出ない時 外であそんでいても だいじょうぶ
に煙の出る時は 過剰にその夜にあらわれるんです。
それなのに どこの病院もダメ

— 日「産化学の煙はひどいんじゃないですか。」
「そうなんです。ひどいんですよ。戸をあけていられないんです、
そうちの庭の木もみんな枯ちゃうん 屋根のトタンもくさっちゃ
うんですよ。それなのに 体に害がないなんていえますか。」
— それに対して 会社側と交渉かなんかしたんですか。—
「ええ 昔はうのがつどっきりもねえ」
— じゃあ 会社のほうから電話をしてきたりしたんですか。—
「ええ なんにもねえ 会社のほうからはすの字もでてこない
泉が湧きます。」
「工場ばかんぱな設備なんかだめだ。煙の出る設備をしなければ
ならないんだ。」

だけー生けんめいやってくれるんだなってお もうでしょ
バカですよね 会社が一方的にきめてきた日を ひきつけた保健
所もまた 行く人も行くんですよ。私だったら そんな日にきめ
うれたことに対して 見学拒否をしますよ そうでしょ」

— 長す連
課で名
かん若ち
とうでう
んいなの
すまえにで
しまない
とよ。
— なんてみんそ
すかー
「あかもむとつ
ですよ。
— 工場
「ええ なんにもねえ 会社のほうからはすの字もでてこない
泉が湧きます。」
「工おは設ればばんぱな設備なんかだめだ。煙の出る設備をしなければ
ならないんだ。」

笠島さん(被害者)のことば

煙の出ているときに外に出ると、その夜に急にたおれて、息が
できずに ヒーヒーとのどをならし 手足をばたばたさせ
しろくろ こっちはびっくりしてどうしていいのかわからず
おろおろして 四、五さつたりするりとためでしょ 夏夜でも
近所の人を 起して病院をさがしてもらったけど どこもこてん
わられ やっとつれてくるなうみてやるっていうんですよ。その子の
なら はじめっから そういってくれればつれていったのに
ち 供がその間 ずっとその子供が死ぬかとハラハラしてたのに
たび に こんどはだめかとハラハラしどうしです。医者にみせるん
とで す。煙の出ない時 外であそんでいても だいじょうぶ
に煙の出る時は 過剰にその夜にあらわれるんです。
それなのに どこの病院もダメ

— 日「産化学の煙はひどいんじゃないですか。」
「そうなんです。ひどいんですよ。戸をあけていられないんです、
そうちの庭の木もみんな枯ちゃうん 屋根のトタンもくさっちゃ
うんですよ。それなのに 体に害がないなんていえますか。」
— それに対して 会社側と交渉かなんかしたんですか。—
「ええ 昔はうのがつどっきりもねえ」
— じゃあ 会社のほうから電話をしてきたりしたんですか。—
「ええ なんにもねえ 会社のほうからはすの字もでてこない
泉が湧きます。」
「工おは設ればばんぱな設備なんかだめだ。煙の出る設備をしなければ
ならないんだ。」

北九州

北九州市

〈企業〉 旭硝子・日水・明治製糖・日立金属・鐘紡化学・日本発鉱
新日本製鉄・新日鉄化学・京阪煉炭・三菱化成・三島光産
三原金属・光和精鉱・東海電極・日本板硝子
洞海化学 etc

〈公害〉 ばい煙(石炭・セメント) 粉じん・亜硫酸ガス・悪臭・騒音・振動
汚泥(4,064,000m³/日 工場排水)—洞海湾 青潮
降下ばいじん量 全市平均 1799g/m²/日 減少傾向
亜硫酸ガス 〃 1465mg/100cm²/日
有害物質 ベンゼン C_6H_6 メタノール CH_3OH ニッケル カドミウム
カルボニル 臭素

〈製鉄事業〉
水道(遠賀川・紫川方面) 教習所・病院・社宅・共同社宅
従業員クラブ・文化体育施設・共済組合・貯蓄組合
健康保険組合・製鉄所構内工場・技術研究所
「大工場とその工業都市とは一つの宿命にある。汚い街によい工場がそうかけない。製鉄所経営の一環として八幡都市計画は よく計画されなければならぬ」—
以前八幡製鉄所長

〈被害〉 八幡区城山小学校(城山地区—市内最も降じん地域)
中小企業 200〜300 集中
症状—ぜんそく・鼻じる

〈製鉄史〉概略

明治 34年10月 福岡県遠賀郡八幡村・官営八幡製鉄所オープン 溶鉱炉火入れ
町会議員12名 議員当選、以来毎期選出
大正 6 初代市議会議長に製鉄所庶務課長になる
9 大争議"溶鉱炉の火は消えたり"…… 2万人参加 製鉄所長宅、技師と職工職夫との身分差→待遇改善 鎮圧に警官、憲兵隊、在郷軍人、消防組にまって大日本国粋会員が抜き身を下げてパトロール、400余人検挙、44人徴役14人解雇

13 浅野セメント降灰運動"金一封"で終る

昭9 日本製鉄株式会社設立 輸両製鉄等5社合同
20 組合結成
25 八幡製鉄株式会社
各所で公害対策陳情・動く込み示威・警官出動
35 戸畑区三六地区住民・婦人会 対 日鉄化学
38 八幡区セメント降灰補償事件
同日本セメント事件
41 ばい煙規制法の補償第一号
……800万円が80万円に圧縮され顔役の持ち逃げで一世帯580円
45



北九州市

北九州市 人口105万・商業販売額 4425億円・工業出荷額
財政規模 6300億円

市政だより…中期計画
大規模な生産都市に 3ケ億円 中期計画は、一口にいって
すこし豊かな大都市づくりをめざしている。「北九州市は
働く町であって住む町ではない」というイメージが一部に
でも残るようなことはこれからは許されなくなります。

関門大橋 九州縦貫自動車道、山陽新幹線、響灘
周防灘の総合開発

— ロケハンルポート —

- 「なかでみんなは人つのとりまえよ 実際きたないところじゃない
みなさいとるぞよ、陣情にいきません もうおまらめるわ
ああ こういうことは… 人間の害になる いろんな精神もいてむ
こともみなわかっとるんじゃから。結局みなしこくれるから
政府が みなしてくれる地そういう考えでよ みな」
(城下地区八百屋)

- 5時頃 ほそぼそと退社した男達は八幡、黒崎間の処々にある
立ち飲みで一人 ぽつんとコップ酒をあおりながら、社宅のある
黒崎駅を降りた難勤め人は アケートの商店街、暗い
トンネルの様な近代的な商店街を急ぎ足で通りぬける。

- 全市が展望される四倉山展望台には退社時になると車で
派いミニスカートがよく似あうかわいい女と陽焼けした体格
の良い顔のきついショートカットの男が アベックで二千本の
煙突から夕方から夜になると 一斉に放出される赤黒、灰、白色の
煙でくすぶる市街をボーっと眺める

- 全市を支配する西鉄市街電車の中で若い女が乗りこむと
男達の眼は彼女が降りるまで彼女を物のようにじっと見つ
めて放さない。

- 公害のことを聞こうとすると、隣りのおば主人の陰口にまる広が
る相団地(社宅)の女

- 黒生田の社宅、平社員は、平屋建ての五棟の長屋、
課長は二階建て二棟つづき、部長は独立家屋、同じこの
小さたような間取

- 電柵色の工場群：里くおかた町の道路巾は広く、人影が
電車の中は満員 三輌連結、3分おき

北海道 室蘭市

〈企業〉

東室蘭から輪西、母恋、室蘭の各駅の間に、新日本製鉄室蘭製作所と日本製鋼所の工場が帯状に位置し、その他、日本石油が、今の15倍の製油所の大工事中であり、ジェラルミンの、石油タンクが、4つの工場地に立ち並ぶ工場から成り立っている。セメント

〈製鉄業史〉

明治政府は、北海道へ送り込んだ囚人を、落中産業の育成のために、鉄鋼業を打ち興し、(兵器の生産)つまり富国強兵的な政策の中で、日清日露戦争のたびに、高炉が増えて行くなどして、大きくなっていった。

日本全土で軍需産業動員会議が最初に入って来たのか、室蘭であり、次に、世界大戦中の臨戦体制は、生産フル回転させ、徴用兵、朝鮮人強制労働者、勤労動員、女子挺身隊など、と、1万数千名に達し、町は、市長が命令すれば、となり組まで行き渡り、隣組連絡網が敷かれ、大日本婦人会、少年団、防護団、町内ごとに会が、無数に作られ、終戦まじかには、市民全員が国民義勇隊に入る等、町ぐるみで、衛頭カンパ、大砲のキフ運動を行なっている。

北海道の中で、札幌、函館等とならび、最重要防空都市に指定され、東条英機等、政府、軍部首脳が、訪れていたり、旭川第7師団が駐屯し、大きな「がいせん門」が作られ、室蘭港から出兵していった。

室蘭は、たえず国家的支配の中で、その変せんを重ね、工場がなければ、この発展もない係な町であり、日鉱は、今でも大砲を製造する等しており、その町の有り方は、変ってはいない。

大牟田市

大牟田 ― 福岡県大牟田市

〈企業〉 三井鉱山三池鉱業所、三井コークス、三井製煙所

〈公害〉
- 大気汚染 ― 三井コークスからの粉じん
  三井東圧 ― 亜硫酸ガス　　把工場のボイラーの排気ガス
- 大牟田川 ― 七色の川といわれていた。数年前廃油に火がついて焼え出し、今でも赤かっ色をしており、100m位離れている所でも悪臭がする。一有明湾のノリ養殖に枯害がでている。

〈企業史〉

明治
- 4年　三池藩士、石炭採掘を願い出る
- 6年　炭礦一円官山となる。囚人強制使役開発(86年まで)
- 9〃　三井物産、石炭の流通部面掌握
- 16〃　三池集治監設置
- 22〃　営業权、三井鉱山に引渡し→43年5論島出身労功者(ヨコンといって軽べつ)を港で石炭積出に便い以後差別管理
- 45〃　ガスタール工場運転開始(三井化学の基りができる)
  硫安工場運転開始

大正
- 3年　三井製煉所、亜鉛製煉開始
- 5〃　電気化学操業開始
- 7〃　米騒動 暴動事件スト、軍隊出動
  タール系工業(染料)完成(後に三井化学)
- 9〃　会社は共役組合(御用組合)を作って労動運功の切りくずし
- 13〃　鉱業、三井製煉所中心に大争議

昭和
- 6年　三池千素、合成硫安製造開始(12年に東圧と合併)
- 7年　東洋高圧(三井系)
- 12〃　合成石油製造開始
  戦時体制に突入
- 20〃　敗戦
  第一次石炭政策
- 27〃　炭労無期限スト(21日)解雇撤回を勝ちとる。
- 31〃　製作所を切りはなして、K.K三井三池製作所とする。
  合理化へとつながる。

- 35年　三池争議　炭労の分裂と同時に化学工場の組合も分裂
- 38〃　11月9日、三川坑炭じん爆発　458名死亡
  CO中毒　822名
- 42〃　大牟田川工場廃液で焼えだす。

- 石炭を焼料、源料とした石炭コンビナートの形成
- 昭和初期「煙たなびく大牟田の----」という歌が(産業発展をたたえる歌)が出来た。
- 他の資本は全く育たず、「三井の城下町」といわれた。
- 大牟田市の形成は、三池炭鉱と、石炭コンビナートとの発展と共に有った。

〈三井の城下町,「三井さん」明治以来の三井経済支配の中で住民のほとんどが三井と経済的及び個人的関係をもっている。三池炭坑と岩炭コンビナートと共に有った大牟田市では、大気汚染河川汚染は常態化していって、住民の訴はほとんどない数年前、一地区で見まい金要求の動きが有ったが、時の有力者のあっせんが持ちこまれ、その後うやむやの内に終っている。〉

38年11月9日…三川坑爆発(485名死亡、CO中毒822名)は政府エネルギー政策の転換(石炭→石油へ)石炭スリップ&ビルド政策＝合理化という時代的背景と明治の国人使役以来の人間スクラップ支配に対する大正7年の暴動以後の戦いとして60年三池斗争の敗北後3年を経ずして起った三池炭鉱事故死亡者数

昭和	20	22	25	27	29	34	36	37	38
人数	120	50	18	10	7	1	16	15	〃7〃

35年以後、炭労と事故発生が平行線をたどって上昇している中で三川坑爆発は単なる偶発的事故としておこったのではなく上記の事を背景として、きわめて象徴的な意味を持っていた。

CO中毒について
〈症状〉 COで脳がやられる。COにさらされた時間、濃度、体質によって病気の程度に著しい個人差が出て千差万別

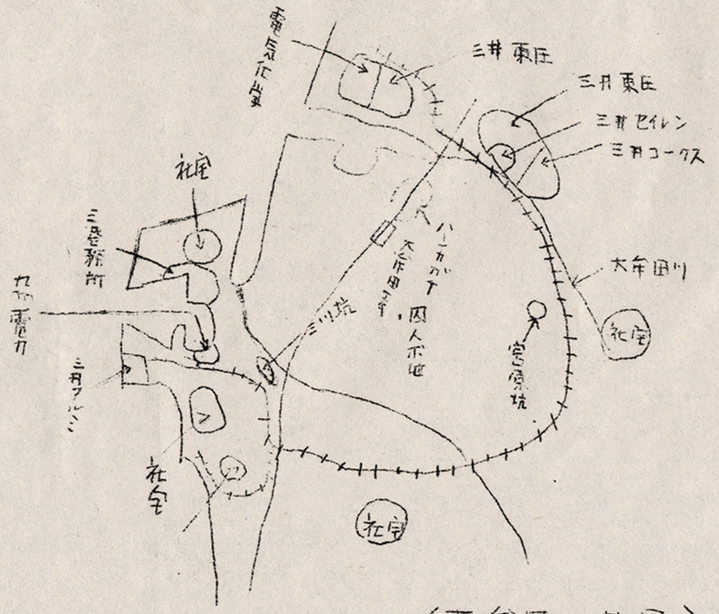
例・宮島さん〈最重病〉は、脳波が出ない。感覚、運動神経が全部やられている。7年間寝がえりも打たず液体の食事をゴム管をのどまでつっこんでいる。
軽病で運動神経がやられていない人でも忘れっぽくなり何をやっても持続しない、気質がまったく変ってしまい、エゴイスティクになって子供とおやつのとりあいをやったり、奥さんをなぐるようになったりする。
・古賀さん、体は右手が少し持ち上がらない程度だが、体力が続かず、寝てゴロゴロしてばかりいる「眠い、眠い」が口ぐせで外見でもわからないので近所から怠けてぶらぶらしていると更口がとさやかれる。怒るも、そういって家をとびだしてしまった。帰ってくると、親父とけんか。

〈会社及び、その他機関の患者対策〉
昭和 38年 11月9日死亡458名 中毒患者822名
爆発後しばらくはガスのため現場へ近かずけず長いもので24時間もガスにさらされていた。
41〃 労災保障期間打切と共に、会社、病院は、少数の長期療養者を除いて医学的根拠のない、治ゆを理由に、食事の差し止め、看護の打切り等を行い病院からの追い出しを計った。
（ホ2組合の患者の母親が打切り直後 自殺）
この時点においてホー組合家族の会は前収保障、解雇制限、完全治ゆ三実を含むCO法の成立を目ざしてCO立法斗争を開始
42〃 抗低すわりこみ
家族の会の主婦達が一週間抗低へ座り込んだ
厚生省まえでギスト
「まず自分自身を支えていくことが大変だった。グチのこぼし合う場を持つことが必要だと思って作った。現在は斗いの展望が具体的に見えなく苦しいし、つかれが出ている。42年のすわり込みば、どうしてやれたんだと思うことがある。結局自分の生活を守るということが、はっきりさせていくことが必要ではなか。」
42年、43年ホ2組合主婦が自殺
国会でCO法成立 ただし三実については（組合の要求）文明化されず
「私達のもらったのは、お菓子のはいっていない菓子箱でした」
CO立法内容
・症状によって5段階に分類し、それによって、長期療養＝入院訓練所、抗外職場復帰、抗内復帰（労立認定患者のみ）

昭和 44年 50名の労立認定患者、厚生省に異議申請
45〃 3月 上記却下
7月 3名の認定取り消しの、行政訴訟おこす

この間三井は一貫してもみ消を計り、患者に対して「災害ヒステリー」「組合病」のレッテルをはる。現在、抗外復帰現場は、三川抗サク内、中央小場、三井病院のうち所であるが 特に三川抗サク内では、3つの内最も重労働をしている。（ほうりこまれているかんじ）

患者発生後7年CO法成立をピークとしてマスコミからもっ殺され患者の存在が個々の家の中で、日常化されつつある現在とも言えば患者と家とお毎日の関係の中やきんじょの人の視線の中にのめりこんでしまいそうになっている時、敵はいぜんとして労災、公害を含めた総資本との対決を余儀なくされていく家族の会は、三池労組をバックに成立しているがともすると現場の労働問題とかみ合わなくなっていく
「組織の中で、やはり守られる部分とつぶされる部分がありますからね」
何回も逃げ出したいと思ったかわからない、乱暴するときは、主人がにくいういう気持になってしまう。今まで新潟の患者家族で3人の自殺者が出ている。



〈大牟田 地図〉

荒田川

- 岐阜の荒田川…木曽、長良、揖斐が形成した平野、南濃農ひしめき合って流れ網状に錯綜している。農民は、その網の目のひとつひとつに「輪中」といって、まわりに堤を築いて洪水を防がなければならなかった。御囲堤は浮条と農民は、水害復旧の手当もださずに年貢の徴集な苛酷だと、大いに集まり、激昂に駆られた農民の詰問に「発願人は、両度の大水なり」と答えたという。

- 大正6、7年頃は、工場を誘致する人気時代、各地に工業都市が起こり各都市とも競って工場を誘致し、農水産業は二の次にされ、工場排水による公害問題は全く無視されていた。

- 備を持つ実際に活用し居らざることは、荒田川の現状を観るも明らかなり。

- 岐阜県に於ける小作争議は、件数…激しさでも全国一といわれた。荒田川の汚染排水と戦重にも圧迫を受けた小作人達は、小作争議にも立ちをしばらざるを得なかった。指導者にも恵まれず、力よう。ものになれず、地主の運動を支えたり結果になったといえる。他方、地主は、小作からの要求もあり、小作争議を拡大ないためにも工場排水問題を解決しなければならなかった。

- 岐阜市内の養蚕設立推移は、大正2年八又件が5年から2件、7件、14件と10年には20件が記録されている。

- 運動は、毎年のように繰り返されたが、研究中とか考慮するとかで、うやむやに葬り去られていた。

- 住民に特権を強いて、殖産興業のため、奉仕するばかりであった。魚が減ったり、漁民が肥料になるとかといって、てんで問題があるから、かえって肥料になるわったと気配がなかった。

- 農業者が多く漁民と農民は共闘した。完全な排水処理施設をとっていない。戦後、漁民と一般住民が共闘して農業兼漁業者が僧悪な漁民と要求している。これが戦後漁民と一般住民が共闘して大きい原因の一つでもある。

- 県立農事試験場や高等農林学校は県からの圧力により、調査を放棄し県の権力外である京大戸田正三教授に依頼(昭和3年6月)

• 「清水川より荒田川の上流、中流に至る間は、汚物沈殿池の観をなすなり、本流の汚染程度は岐阜市の発展と共に著しく可からざるの感あり、その含有固形物、特に脂方、汚泥、色素、澱物、繊維類、多量の有機物に基く物理的被害は甚だしきものと認めざる可からず、即ち、ホー、不快感の続発し、ホ二、腐敗気新の発生、ホ三、井水汚染の経験、ホ4、当時多量なる汚泥の沈澱とこれが洪水時における氾濫、殊に汚染物質の附着性強度なるために来たる樹木草根の被害即ち農作物工の被害、ホ5、水中酸素の欠乏水中微生物の種類の変化と魚類の撲滅及至減少------」

• 昭和42年4月、組合の初期の目的は完成し、工場排水をうすめることも可能になった、そこで汚濁水の問題を完全に解決せずに解散
岐阜市稲葉郡用排水組合に包含、荒田川流域以外の住民が入っているので排水問題に以前のような力を入れなくなる。
同42年は藁満橋事件が起り、国を挙げて戦争への道を突き進んでいた頃産業の時であり、住民はこの問題から次第に目をそらされた。
工場側は、執拗な要求に対して不充分な施設しか作らず、夜こっそりと川へ捨てる例もあった。和紙のように廃水を下水処理場から断り別廻した例もある。

(この工場は、現在も形ばかりの沈澱池を作り、色とりどりの染色液を荒田川へ放流している。)

呼松エピソードとエル

水島 ㊤

• 明治13年、呼松地区漁民、埋めたて反対斗争に立つ。夜間決死隊員約10名が埋めたて境界線に並べて沈められたカメを手当り次第に打ち割った。この斗争には、地区民ぐるみ一致団結してあたり、刑事事件となり、5名が逮捕された時、「代表を救え!」「犠牲者を全村民の手で守ろう!」と裁判費用等を村民の手でつくり、最終的に未決囚として投獄されていた代表を、裁判は行なわず、釈放させた。この5人は、住民の守り神として祭られ、家族その他の面倒を村民一同がみた。(カメ割事件)
• 昭和35年、事件発生後25年目に顕徳碑が立てられた。
• 昭和39年、水島地区が新産業都市に指定、当時、四日市では公害が問題となっており、小児ぜんそくが多数発生していたため、企業誘致と公害対策が重要事項となっていた。
• 化成水島操業開始に対し、燃焼塔の爆音で、(フレアスタック)住民が、夜眠れないとして会社用地内で座りこみ斗争を行なったが、ごぼうぬきにされる。しかし、一応爆音はなくなる。
排水による水路内の魚の死亡を機に、漁民が化成水島工場の排水口封鎖のため、土のうと積んで出かけたが、工場側の「まあまあ今日のところは…なんとかしますから…」という事で引き出かった。
しかし、工場側は何もせず、漁民の要求は通らず、以後、具体的な斗争は立たなくなった。漁業組合が中心になり、異臭魚を公害として認めさせ、補償を出すことを要求したが、その根拠が薄弱であるとして、県、市、企業ともに認めず、後になって異臭魚の買上げが、市、企業によるなされる。「公害としては認めないで、地区振興という名目でこれが行なわれた。1,900万円の予算で買上げを行なったが、一ケ月で消えてしまった」

S40〜41

昭42.2 倉敷、玉島、児島三市の合併。
これは水島を行政的に管理する為、(税金等のお客関係が絡んでいた)
• 公害委員設置(各地区に)企業となれ合い、市への公害報告がとざされていく。各地区に測定器を置くが、機能不充分で、ただのデータ集めにすぎなかった。
• この頃より、協同病院が独自に気管支ぜんそく、小児ぜんそくを公害として認める。(S.44.2)市の医師会「協同病院は赤だ」と反応。
• イ草の先枯れ、S39頃より起こり、現在は、以前の2%しか作られていない。一福田、連島
• 魚が多数死ぬので、会社を追求するが、市も無視してとり上げず。会社は、魚を排水口の近くにかって、「この魚は死なないから、うちの排水が原因ではない」とごまかす。
* S.45.4 公害監視センター設置、SO_2中心に大気汚染濃度を知らべる。最初は、安田という人が所長だったが、現在は、企業的観点に立つ谷本という所長にかわった。
* 企業進出の時の農家立ちのきの際、反対した農家のまわりから工事をはじめ、「売らないと云ったから、買わなくともよい、どうぞ住んでいて下さい」と企業側は云った。しかし騒音で住むどころではなく、夜たげ同然のようにして出ていかざるをえなかった。
* ダリーンベルトをつくると云って農地を買い上げたのを、工場敷地にかえてしまったり、計画中のところがある。
* 広江団地(化成水島の社宅)の主婦の談話「煙で、むせんだような気がする、せきこむとのどが痛い。まるで煙突の中にいるようだ。」「いつも風邪だろうとすまされる」「主人の会社が水島にあるから…」
* 撮影拒否体験記
岡大写真部員が、ある独身寮に撮影を申し入れた。外来係の若い男に目的をくどくど聞かれ、撮影が企業の為にならないと感知するやいなや、「駄目だ」と云われた。「世の中は甘くない、市長の紹介でもならってこい」こちらが、「それなら結構です」と引きさがると、しばらくして追いかけて来て、名前とか撮影理由を詳しく話せとつめ寄

拒否すると、「出ていけ」と云い、「走って出ていけ！髪切れ」オートバイに乗ると「ヘルメットかぶれ」そしてパトカーが表われた。

〔イトムカ〕北海道網走支庁留辺蘂町元町　水銀鉱山

S.14　ヤマト鉱業が採掘生産開始
（S.11.11　北海道を襲った大暴風雨で倒された針葉樹林あとから水銀鉱床が見つかった。）
S.15.　野村鉱業会社に社名変更
↓
終戦まで2,000人程の、朝鮮人、捕虜使役。
終戦で、朝鮮人らは引き上げ、日本人（引き揚げ者・他山から）が入山
S.35　産出量ピーク、（月産200トン）以降、下降。
S.37　合理化の案、希望退職者をつのったが、退職者が予想を上まわり、再募集した。
S.45.5.15　234人のうち、180人の希望退職案の提示。組合側は解雇条件に反対し、ストライキ。
〃6.8　全員整理、半数以上が退山へ。
以後は、20人程の鉱員の手で、鉱脈さがし、月産1トン

〈水銀中毒〉

採掘夫、溶鉱夫の浮しんとか、水銀中毒症状
これでは、水銀中毒を「よろけ」と呼ぶ。勝見さんも「よろけ」経験者だ。去年の秋、6番坑でものすごい生水銀にぶつかった。スコップでゆすると、ギラリとした水銀が底に残る程の量だ。夢中で掘った。と、一週間で、歯がぐらぐらしてきた。足の関節がしびれ始めた。坑外作業に移り、歯を7本抜いた。
金属の歯を腐らせるという水銀蒸気は、臭いもないし、見えもしない。「ここは、どのくらいかな」と聞くと、「まあ、コンマ3か4かな」と云う。お昼休みに、マスクを付けた。1m³中にのコラムの水銀は、札幌鉱山保安局が作業中止を指示している量だ。だが、誰も作業をやめない。水銀吸着性のマスクを持たされてはいる。しかし、坑内の温度は、35°。「マスクはんかしていたら仕事にならん」と、使う者は誰もいない。
敏さん、（38才）あだ名が風船、よろけ歴8回、よろけにかかると、熱いもの、冷たいものが、はれた歯ぐきにしみる。歯がうく。生臭や、ふらの臭をかぐと、吐き気がする。食欲が落ち、酒のいさおいをかりて、飯を流しこむ。
夜、眠れない、イライラする、手がふるえ、足がけいれんする。12,3キロも肉がおちる。ピックがやけに重く、坑内のどこでも、ごろんと横になってしまう。
入院して栄養剤を打ち、うまいものを食べる。利尿剤を飲み、水銀を、尿といっしょに体外へ出す。3ヶ月も経つと、肉が付き、はちきれんばかりになる。風船のように。が、又、坑内にもぐると、この風船、みるまにぺちゃんこになる。敏さんは、この繰り返しだ。
「朝、地獄、昼、極楽、夜大往生」とヤマではいう。朝、坑内に入った時のやりきれなさ。仕事の痛さ。地下105mの坑底に降りると、空気がどろんとしている。臭い、鼻をつく。何の臭いか。岩が腐れば、このように臭うのか。足をふんばり、ピック連発たつきさす。切羽には、直径20cm位のビニールの風管が届いている。しかし、どろんとした空気のよどみに、風管は無力だ。10分もたつと、汗は体中から吹き出す。胸がつぶれる程。息ぐるしい一昼。45分間の休み。枕にうつぶしてじっとしている。あの時間が極楽だという。社宅に帰った男達を、しょうちゅうが待っている。限度2合。「よろけ」にやられた内臓はそれ以上を受けつけない。パターン一夜、大往生だ。
「ボクのおとうさんは、毎日晩ごはんのときに、お酒が大好きですから飲みます。そうして、すぐイビキをかものすごくかいて寝てしまいます。」　―朝日新聞、水銀鉱山ルポより―

組合は、会社側から提示されたことに対し、7.16.臨時大会を開き、「経営陣に再建の意欲が全くないし、資金的保証もない」として、のよろけ患者の完全補償、②再就職のあっせん、③退職付加金の積みあげなどの20項目の条件闘争を行ない、7月末をメドに会社側の提案に応じることになった。
現在、再就職先、移転先も決った250戸の社宅は、ひっそりと静かであったが、しかたがないもの、としていた水銀中毒症によって体をいためつけられたおとうちゃんのこれから先の事を心配するおばさんがいる。

東北（比内、磐梯、陸奥）

比内

22中中、8中が集団移転の話が出ていた。
2週間後行ったら、それがうやむやになっていた。

・磐梯

磐梯町、福島県耶麻郡磐梯町
日曹金属会津製錬所、創立　大正5年

創業55年、被害は戦時中、増産に次ぐ増産の為。
近くの山がはげ山になる。戦争中には、馬が30数頭死んだ。
部落もあった。工場から1kmの土壌には（水田の土）5ppm、レタスから、11.9ppm、昨年の玄米から、1.61ppm（安中以上日本一）検出された。
畑に植えたアズキが消えていた。「芽は出るが、白菜も、キャベツもみんな途中で姿を消してしまう。」はげ山というのは、工場のすぐ裏で、草もはえない、赤茶色の皮ふをさらす。工場の眼下の川の石はどす黒く黒ずんでいる。

企業一
日曹金属はここ数年「うちと町民とのおつき合い」と称し亜硫酸ガスの見舞金を年間100万円当り支払っていた。わずか、200円をいう農家もあった。

住民の反応

被害は戦争中のことで、今は関係ないという人もいる。
森下助手（東大）の発表、集団検診があり、指曲り患者がいることはそこの部落の人も知っているはずなのに、住民は空とぼけている。一軒ひとつへだてた雑貨屋で、「あの家がそうだ」と言われて行っても、その辺の人は、皆が皆「さあー」と言う。
直接の被害者であるはずの農民は、「あすこの防風林は煙でやられて木が伸びない」などと語るが、自分達自身はどうするかに関しては、はっきり言わない。今、こんな特出して肥料をやっても、どうなるかわからないけど、と言いながらせっせとやく。補償を誰がやるかということもはっきりせず、「さあ、これからだなあー」という。それは時期尚早だということだけではないようだ。
又、土地の汚染がクローズアップされたこと自体が、工場にとって、営業に水だと言う。工場関係者もいる。その言葉のすぐ後に「企業の負担能力を越える処理をしなくちゃならないのじゃないか。私たちにとって、家族を含めて2000人の生活責任を負っているのに」と言う。

磐梯の町自体は、大部分がサラリーマンで、日曹金属に務めるのは全人口の1/3、他は皆、町をでていく。昼間は40才以上のおじさんやおばさん、子供しかいない。昼間、町を歩くと東北特有の黒いトタン屋根が日光にぎらつき、シーンと静まりかえっている。社宅を歩いても貧しさが目についた。被告の社宅のような趣だった。

・比内

北秋田郡比内町弥助地区
大日本鉱業、立又鉱業所　昭18着工、19創業開始
従業員250名前後、銅、鉛、亜鉛の採鉱山

創業開始、6~9年頃まで、廃水を系内沢川に流し、それによる被害がでた。昭和25~27年頃まで2m×5mの小さな沈殿地を作った。沈殿地が余りに手ヤ千なので、水田が沈殿地になっている。廃水の混じった川の水を取り入れた最初の田は、全く使用できず、次の田は、稲が育たず、一つの田でも、反対側の方は普通に稲がのびている。
今年の7月頃から、廃水に中和剤を流している。部落の人も、最近水が少しきれいになったとは言う。
しかし、川の水は、一見、澄んでいるが底の石にはべっとりと赤色の重金属酸化物が沈着し、手でかき回すと大粒の粒子がまいあがり、すぐに沈む。
被害は鉱山廃液による農作物、飲料水、人体への重金属汚染である。被害者は、腎臓をやられ、尿にたくぱく質がでている。指曲がり病、イタイイタイ病の初期症状に似た症状がでている。昨年から、異常に発生した症状にかんし、7月初め、保健所の回診をしたが、原因不明。重金属によるのではないかということで岡大の小林教授が来た。
さらに、重症だと思われる3人が富山の荻野医師のもとに検診にいった。
医師からは、1/9人がイタイイタイ病要注意の疑いが強いと診断されさらに井戸水に基準以上のカドミウムがみつかり、今では、飲用停止となっている。今はもらい水をしてその日暮しをしている。
その中で、弥助地区22ヶ所のうち、8ヶ所、30人が集団移転を希望している。
「患者」の家に事情を聞き、鉱山との事になると、住民がちに、「富山の結果はまだでないし、公害かもはっきりしていない。ここでは皆、高橋さんに会って、全て、おまかせしているんです。」といって町会議員の高橋さんの家に引っ張っていかれる。

高橋さんは、「公害の補償」というのは、現行法にはありません。補償を許すような形にしなければならないという法律はないから、裁判をやっても補償メ。工場に金を払せるやり方は、こちらの見積った何倍かの金を工場に出すよう、最低の線で工場を出す額をみつけるのが、金をとる近道だ。」と言う。埋立や転地を要求しても無理だから、土地返しし田を埋めるとかする。重金属のない下の土地とかえる。重金属はかなりうすくなるといって、他の土地の土を交換してもらうんだ。そして、農民はバカだから、指導者が問題を複雑にせず、即ち単純とした方向をもって やってゆくべきだという。

農民は、その話は誰々さんの所へ行って下さいといいやすく事情は深く、集団移転の話が撮影に行った時期には、もうウヤムヤになっていたことからも、うかがえる。

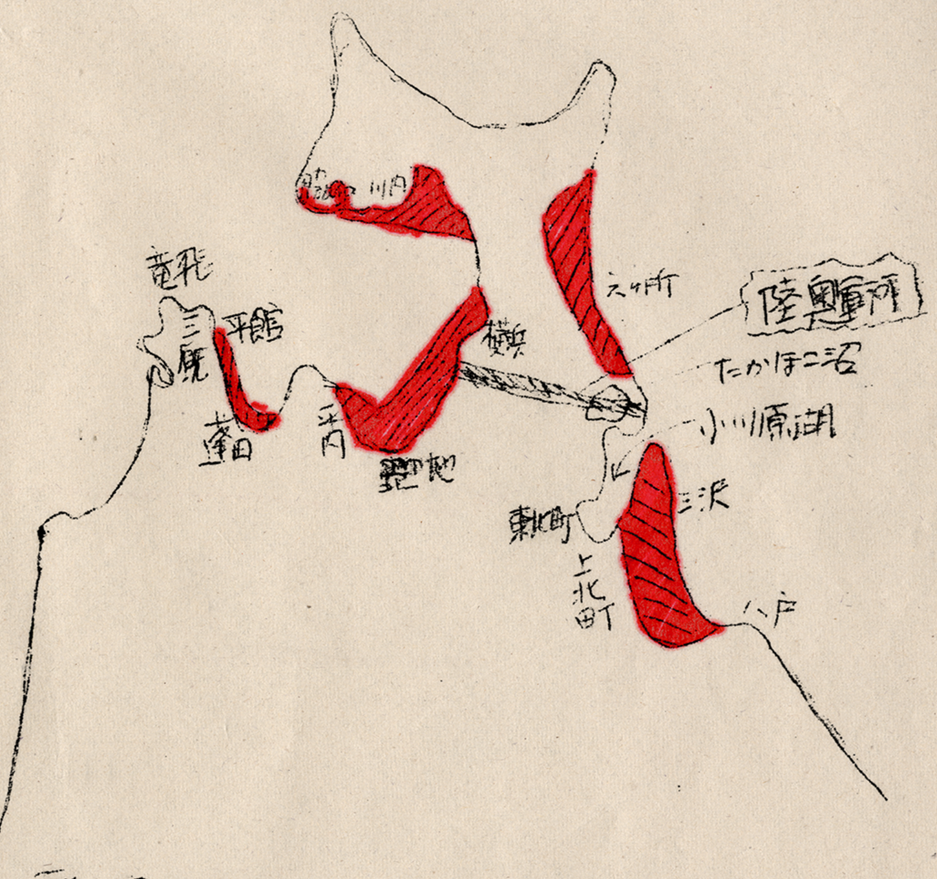
陸奥

陸奥の南部（7月号）
巻頭言

陸奥満時代 迫る。
陸奥湾の偉大なる地理価値を知るべし。6月29日、世界最大のタンカー船41万7千重量トンの建造が運輸省により石川島播磨重工業に許された。即ち、世界が夢とした 50万トン級の巨船時代は、すでに幕を切って下して、全世界にお目見えするものである。
その時期は昭和49年度末より石油を主として鉄砂、他の産業資源をこの巨船が運ぶのである。この時点に於いて、日本及び世界の造船界、産業界には、[redacted]大一改の革命がおよそ各地の臨海工業と港湾は変化と変革をまぬがれないのである。
即ち、今をときめく京本の釧路港も過去の代表港となり、古物化すものである。
この来るべき巨船時代に「陸奥湾は世界からみても日本国の現状からみても[redacted]中一の特殊適応の代表大港である。」
この北方における未開発地帯の木材と[redacted]鉱物をさらにシベリアの石油鉱物、木材は最短距離に。
外の巨船は何度でも易にして出入りせしめる大陸奥湾へと集中的に輸送されるのである。

こちらから側からどう書くか

鹿島以来 躍動する日本。
昭和以来、個を確立することの方法を知りつくしている日本人。何かをはじめる



新居浜（愛媛県新居浜市）

〈企業〉 住友化学・住友金属鉱山・住友機械・住友電工・住友林業
その他住友系下請会社

〈製造物〉 住友化学 … ポリエチレン・ラワ名・ノーガタック
住友金属鉱山 … 金田(四阪島)ニッケル・亜鉛

〈排気物〉 亜硫酸ガス・煙塵・メタル粉塵 SO₂ 一酸化ガス・フォグ・青酸

阪神工業地帯

高石、堺、大正、此花、淀川、尼崎、神戸、苅藻

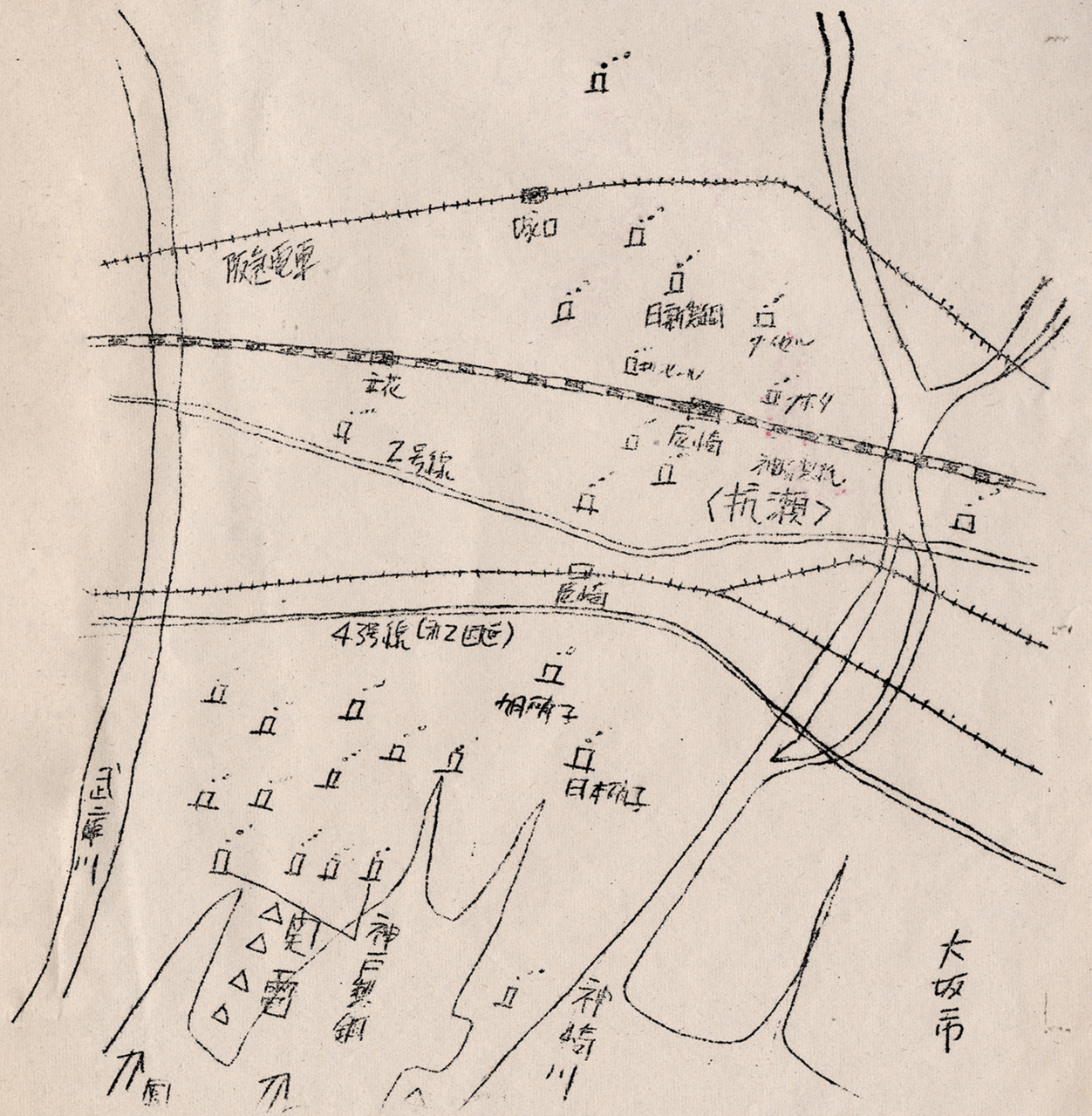
大阪と神戸を結ぶ阪神工業地帯の中心に位置する尼崎は、大阪湾に面し神崎川と武庫川にはさまれている南部臨海工業地帯と市内中心部の商店街そして六甲山麓扇状地帯との一角をしめる北部住宅地帯より形成される総合工業地帯である。　電力、鉄鋼、化学、窯業、電気機器具食料品などの大工業をはじめ1,700余の工場が密集しており、煙突類も8,000本を越すほど林立しており、そこから排出されるバイ煙は莫大な量にのぼり、これが夏の海から陸に向っての季節風にのって　中心部から東部を汚染し冬季には季節風にのって　北部から西部を汚　粉塵汚染により市全域を汚染する。大気汚染の指標としての亜硫酸化物は川崎につぐ濃度といわれ　環境基準の全ての項目に不適格となっている。　又産業公害の他に最近は都市公害の要素を持つものが多く発している。（騒音、振動、ばい煙、ガス、悪臭、廃液　水質汚染、大気汚染）

大気汚染

現在の大気汚染は大きく分けて二種類あり「すす」や「ばいえん」を主体とする「黒い大気汚染」と燃料革命に伴う急速な発達で亜硫酸ガス、一酸化炭素を主体とした「白い大気汚染」があり　この白い大気汚染が主役に移りつつある。この大気汚染の主原因は、重油、原油、ガソリン、石炭などの燃焼によるものである。

要素　　硫黄酸化物　窒素酸化物　汚染物じん　亜硫酸ガス　降下バイ

尼崎公害図



市民の動きと声

尼崎市内の公害追放市民運動の結集を目ざす「尼崎から公害をなくす市民連絡会」が七月二十一日第一回連絡会をもち結成し、尼崎の全ての公害の絶滅をめざし健康と生命を守る住みよい環境をつくる事を目的にかかげている。兵庫県から公害をなくす市民連絡会議は空気をよこせ、太陽をよこせ、安心して食べられる食品をつくれ、河の水、海の水、自然を守れ、安眠できるような、交通事故が減るような人間のための街作り、町づくり、村つくりをしなさいなどというきわめて素朴な住民運動であり、「生きていること」の基本的な権利要求をしているだけなのです。

杭瀬団地は尼崎市の東部、水質汚濁の激しい神崎川を隔てて"西淀川ゼンソク"(日本で住の発生率)で有名な大阪市西淀川区と接する。市内でも最汚染地帯にあり、42年2月から入居した。昨年7月30日国の環境基準の二十倍を越える硫酸ガス濃度1月間を10回も記録したことから同団地4000世帯を対象とした公害アンケートに対し83%が大気汚染による何らかの影響とみられる症状を訴え"できることなら移転したい"と答えた。公害日記は昨年末公害の絶滅を訴えるため自分たちで記録し台帳作成は…と話し合って元日からはじめた。○健康面への影響 ○よごれ ○公害のために余分にかかる出費 ○備考 の四項目についてカレンダーに毎日記入していくもので270世帯の会議室の壁に張られている。各項目はさらに細かく分かれ、健康への影響については ○悪臭、○空気のよごれ ○せき ○のどの痛み ○鼻づまり ○頭痛 その他 よごれは室内と洗たくものについて記入、公害への出費は医療費などを書き込む。先月回収された公害日記をまとめたところ「住民は大気汚染を敏感に感じとり、健康被害は増加傾向、家計への負担も加えている」ことが数字の上にはっきり表われた。

市民の声

- ○バイ煙が減ったというのにひどい。洗たく物にススがつきまとう。亜硫酸ガスの臭いさを隣く会に誘われても、体でこれさを知っているので怒しくていけない。
- ○入居前に二、三回見にきたが住んでみなければ本当の臭さは分からない。安くてもなんでもするから空気のいいところがあれば逃げ出したい気持です。
- ○議員や議会をたよりにしていても、公害から住民のいのちと生活を守ることは期待できない。しかし行政所在の市役所や議会を許さないために市民の力を働きかけと監視を怠ることはできない。
- ○人間は勝手なもので、自分に被害がなければ本気で考えようとはしない。弱いのは本人が悪いからだ」で通用する。こんな社会でも子供はたくましく育つのですか。
- ○"ナイロンのあみ戸がさびる"そんなばかなとおっしゃる方。冬場全てくかすナイロンに付着しそれが汚染されてさびているのです。
- ○"名札を下げて外出しなさい"心そうが経度によわってきました。医者は"何時たおれるかわからないから名札をさげて外出しなさい"という。

四日市

〈企業〉 昭和石油，三菱油化，石原産業，三重火力，大協和石油化学，松下電工 etc.
石油精製工場→ 硫化水素，メルカプタン類はじめガス状の硫黄化合物，亜硫酸ガス，硫酸の排出
石油化学工場→ アルデヒド，ケトン，エステル，エーテル，有機酸，ニトル，炭化水素のもれ，亜硫酸ガス 硫酸
重油発電所 → 亜硫酸ガス，硫酸の大量放出
〈四日市公害〉 亜硫酸ガス，降下灰塵，煤煙，騒音，水質汚濁，悪臭，刺激臭，吐き気をもよおす臭気
⇨ 四日市ぜんそく……主として目，気管支がやられ，目が充血し，のどが痛くなる，吐き気，ぜん，(気管支ぜんそく，肺気しゅ等)
公害認定患者の約4人中，17人がぜんそくによる死亡。三千余名，ムセキソイローゼによる自殺者まで出ている。

昭和20 空襲により，市街地壊滅(死者300人)
27 四日市大博覧会開幕
30 海軍燃料廠跡地を，昭和石油に払下げ決定
34 伊勢湾台風襲来
〃 第一コンビナート三菱油業開始
38 塩浜の三菱グループ，午起の大協和グループの新しいコンビナート操業開始(第二コンビナート)
42 企業の対策積極化，煙突の高層化，集じん，脱硫装置などをつける
45 霞ケ浦地先海面を埋立中(第三コンビナート)

昭和35 長期経済計画
池田内閣所得倍増計画
《地域開発を進める為に太平洋ベルト地帯(千葉・川崎・東京・四日市・徳山)構想をうち出す》
37 全国総合開発計画
《地域開発政策と要因配分方式として推進しようとした》

昭和37 三重県磯津地区の漁民，四日市石油化学コンビナートの排水口付近流れが早く不成功
三重県磯津漁業協同組合と三重通は「行ぼっち網漁業協同組合と三重通は「行漁民同盟」をつくり、補償金1億円を要求する。
磯津地区の漁民は市当局に対し、硫黄酸化物による健康被害と漁業被害を訴えるとともに、排水口付近の海水の汚染調査を申し入れる。
昭和38 6.3 漁民400人三重火力所長と交渉
6.4 漁民150人が庁舎に押しかけ、県行政当局に対し、公害防止協定の即時締結を要求
6.20 漁民代表24人が県庁で知事と交渉
6.21 漁民代表と三重火力所長と交渉
6.6 磯津漁民，四日市市役所に抗議デモ
6.6 磯津漁民，四日市市役所に抗議デモ
6.6 磯津漁民，四日市市役所に抗議デモ

昭和39.5 開かれた大気汚染学会で、吉田克己三重県立大学教授から結果が発表される。

〃40〃41 市発表「認定患者の医療費を公害訴訟を起こす

〃42 市発表「認定患者の医療費を公害訴訟を起こす

政四日市2人 市発表「認定患者の医療費を公害訴訟を起こす

四日市ぜんそく 市発表「認定患者の医療費を公害訴訟を起こす

津 市発表「認定患者の医療費を公害訴訟を起こす

ナビ心患さて音た。いのかれンとと生っんりろ充かさ入チるくはかとばこもう局かはのう「れ々哥かきにパ入行ははほっとていた稲ホ通公は容っは・か企のビら町港70にん・やるしてで・おたっん

一業で何こてき人ら業仂ン

冬治く人いを空ま企又40代

つの、と手・しも・ら

で、町がう」先よて長りかま

のりもいもん合ト代集いるをし濯一すっに結てて

域業ケトなてせら組い30ら

地温でに、もくまき茶て、

いかも、もうはりも通しで朝あしと」き、通うき自り

為住ふがてよさあて、視きにいトるよ火おたていて局成

の全るいし訴はし際賢通中言ネけしもてる違うう結が

看町いてうを害と実を日い

患、てしどと公う・き一暗談ネとん御り「自にをて生う

ソクるし話、こはもい動はす冗がうる、ごり・だ通めは

ソれこをはのにこなの通うて

ンん起とに害こりしく、のて笑力をいっる定いないにっ

ゼにこをこの公こ入用人た廊しの通に出くわとたっ

角こ判のもがうが信、う倉りなるの央かに」いさここっ

一こも載音いらもらくてそのたみし害注

でけ子に・きち全いる老見風公は日さく庭むさくかんな

ある剛手い六こ・こをて来6人とわに

二煙公をて」ヌしてこら時15しそ視でてがご貴の、いでが

の害相な」ま、とっ々時15)う保こ立今だも通実うし下

この業し」・でっかもかむくいうかろ緑原市ととんとこ

ー38が起るくことちうパ男ま行能と豊こ天生日るんフこ

ー十年企こよるというか イ男ま行能と豊こ天生日るんフこ

のためのすべてすぶの、同

のそのために市民と直接話し合うことが必要であります。

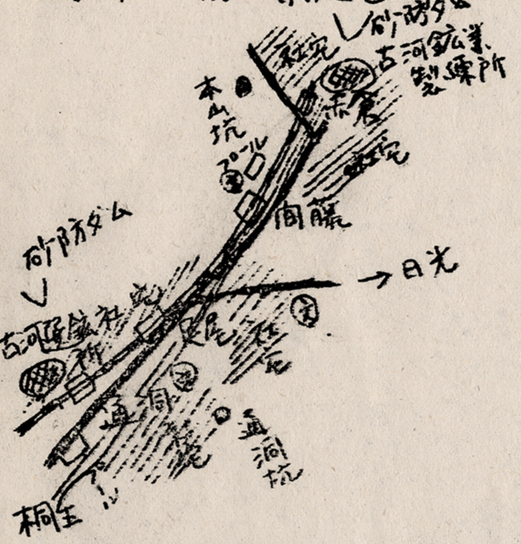
市民の皆さんのご理解とご協力をお願いする次第であります。

昭和四十年四月一日

四日市市長 [illegible]

「足尾」

場所　栃木県足尾町（日光より車で40分）



被害――古河鉱業製錬所より出す亜硫酸ガスによる。
坑内に入る者、又製錬所で働くものは
300人→脳腫瘍という不治の病にかかる（脳腫瘍をはゼンソクに似てる
小児ゼンソク　気管支炎にかかる者が多い。　息が出来なくなる）

人口　1万2千　そのうち古河に関係するもの全体の80％以上

高校卒業生、95％位東京、川崎、宇都宮へ就職又は大学へ

労働者（坑夫、組夫も含む）ほとんど社宅に入り三食会の
生協で買物し、共同風呂に入り慰安所（五日市）
で休息する。

坑夫　組合員と組夫とがあり今なお差別あり。
組夫――東北より3～5年間、出稼ぎに来て、ひと財産をつ
くって田舎に帰る。又、東京、関西より罪を犯し
逃げ場を無くした人が流れ込む。
組合員に比べ危険な場所で働く
AM9時入坑、1日2交対制　月給平均9万円
土曜日には家族で車旅行（東北、北陸へ）
[illegible]をステレオで聞いたりしてカラー手にす

そして毎日、ユートピアだと言って日々を送っている。

35才の坑夫

「もう、東北は行きつくした。これからは北陸に足を向けるんだ。俺も眩暈症（よろけ）にかかっているが、ここで働いていれば35才前後でよろけになるのは仕方がない。このよろけは一度かかれば、もう絶体治らない。ここは地獄なんだ。だから少々悪くても動ける内は無理をして働くんだ。明日から、又車で旅行に行く。さあ今から早く帰り、体を休めなきゃ。もし今晩（下がったら）うちに泊りなさいよ。この町には目に見える、見えない問題がころころころがっている。よく写真に撮って帰って下さいよ。会社の写真を撮るには気をつけな。豪雨の後、渡良瀬川をカラーで撮ると良かろう。真茶色の濁流の中に真黒な鉱毒が流れているのをなれしなら見ると、すぐわかるが、あんたなら、わからないかもな。気をつけて良い写真を撮ってくれ」と私の口をはさむ間も与えずひとりでしゃべり肩をまよめポリポリ帰って行く。

社宅　トタンにコールタールをぬる（1ヶ月に1回）
朝、煙がひどく、雨戸とガラス窓で閉じても、まだすき間から入って来て、セキこみ、子供なら小児ゼンソクで苦しむ。
ミシンなどの金属物は袋を2重、3重にかぶせないとすぐ、さびてしまう
家賃、ガス、水道　電気　暖料、ふろ代は全て無料。
各家には必ずステレオ、カラーテレビ、熱帯魚、冷蔵庫洗濯機あり。家により ピカピカの自転車、Carあり。
子供のおもちゃは大きい人形、ピカピカの自転車、カイジュウ人形
大人のおもちゃは、カメラ、ステレオ、自動車。

保障金制度
3年間は会社が月給の4割を、口が6割をはらう。
以後、口が6割だけ支払うのみ。
鉱毒が死ぬとその事は全額もらえる制度。

ただし、日からの保障金がもらえるのは足尾病院の医師が承諾したものに限る。少しでも結核、その他の病状が見えると肺病でないと言う。

沈澱池
1 小学校の下にあり、運動上は悪臭で日々をおびやかされている。警備がきびしくなり、撮影はぜったい許さない。

渡良瀬川
豪雨の後、水が真黄になるのを見て、鉱毒を沈澱池に送るのを中止し、直接川に流す。現在、足尾町には鉱毒の害はないが桐生、足利付近で、農作物が育たなかったり、育っても実が成らないという事件が少々ある。

山 製錬所の亜硫酸ガスにより大木が一本もない。
近年、桐生、宇都宮より草の種をもって来てまき、ヘリコプターで肥料をやる。

谷中村
数年後に来る国体の競技場にする声も出ている。
遊水池の真中をぶった切り、ハイウエーをつくっている。
谷中村の引き上げ者は、「わしらは東京の犠牲になったんだ」と怒りを持ち生きている。

鹿島） 西70万代の年学り年きりは式が農在て作割方所方現せ湘つし、洗を六島鉄一石を現入合り鹿製…札、立たわを浪
博に挑力る業界企のとをつたます。
東む鉄と出最業団っ南きす。
の巨鋼い荷大の辺て始まか。
鹿島！
なビ総は港力新り、てり……
大なう額の協におレしぎ……
創造大的北工得いす。月ビニ一望
一合一ドンコ南西場て農。にはール
ラマナ業円立を地こメ埋水だっ
ビ事億が地団……アま裁ル群砂地
ドン発千群土業……
人ト完達し得造こり稲、
ートで地取をし成に力そがた
性、する。すし立向のここ肉を成すまし、
肉のそる。用そて地寸他のこ
賭の人20地の農さの農砂地
力！周口万は4民札初菜丘蔵
辺30トン県を選し出術一、
に万割にま職技のに、
住人級とこ元た、行県につ
宅の者こ
と新々元定する後は入員然

「鹿島！ 労務者が仕事中死んでも工事を休むことなく雨が降った時だけ休む。
一本の煙突を建るのに6人の労働者が死んだ
流れ者、やくざ、労務者のたむろする町、けんかの絶えない町。砂漠と労務者の中に巨大なコンビナートが建設されつつある町。」

とし（人口30万の都市が生れたりますので、その点において、精神的、社会的にいくつかの問題が発生しかねてございますが、大局的勝利を期待し、日本の新しい産業の拠点となるこの鹿島の開発に努力してまいる考えでおります」―茨城県知事

。周発のオイ立ちはじめた37年頃から、不動産屋が入りこみ。
今日はオラってくろべえ。今までそんな金見たことなかってもんなあ」
。ニオこの辺て、ポンとマンサツ（10万円札）の札束を出して、土地を売がくんだべーとかたすものんで見ているちゅうと、
。7月30日夜には、東京電気工務所の労働者が、酔って傷害事件を起こし、これを静めに警官隊が出動したところ、700人を超す労働者が一団となり、木刀や、コン棒を持って「帰れ」「帰れ」と警官隊と立ち回りを演じた。
。野ラ「あるで身きてもうほかなかっぺ」
。ソーシャルワーカーが浮ぶ
。家もこ一分ら日
。建てた。旅行も行った。車さ買った。カネさえあったら、あすいくなったこと思ったことやっちまうと、あと何もさ出したカネ。エ、と思ったことやっちまうと、あと何もさ出したカネ。エ、ブラブラしてもつまんネエ。そうしたのなん運の身に財産は子供だけ、こいつらにもう一度演あげ

婦中町・神岡

婦中町 ― 神通川下流、扇状地に位置す、イタイイタイ病発生地
扇状地一帯カドミウム汚染地域、平均1.03 PPM

汚染米は政府に買い上げられるが、自主流通米（商米）は、カドミウムが含有している時は売れにくくなっている。農民は極端にイ病に関わる事をさけ様とする。汚染地区にもかかわらず、ないや、こっちにゃそんなことはないちゃ、もうちっと下だちゅ」と下流を指さす。イ病に関して一切口を開こうとしない。私達の問じゃイ病のことは話さんことにしてるちゃ」と我々の問をさける。又、患者多発地の農民（35～36才）にさけて答えることにたたみかけて問うと、突然、キッとなって、「あんた達（マスコミも含んだ中）のおかげで私らの米が売られんようになった。イ病、イ病いうが私らも何十年ながも食うとるのに、この通りなんともない（黒光りした身体をたたきながら）私らの米はだいじょうぶだ……裁判で金をもらったってそんなの事が百姓が勝ちっこない。三井の鉱山をぶっつぶさないかぎり私らの井勝ったちゅうことはないんだ。そんでもそんな所で立ち上った出まめしいは財ばつだし、政府も動いて直接私らに何かってくる。米売りゃいいかないちゃ……だから、イ病なんかは関係ないんだ。」患者も病院に入院している患者と、家に居る患者とではかわっている事が異なっている。家に居る患者は家の手伝いや農作業をもっている。婦人に多いイ病、北陸の地で働き手として重要な位置をしめている女性に対して風当りが強い。「家事の手伝いも出来ないちゃ」としみじみ話す老婦人。患者のまわりにあらゆる日常品（テレビetc.）が置かれている。家では家族の者と同絶した関心をもたず、なすがままに放置していた。）入院患者は我々に「ごくろうさん」「ありがとう」と言葉をかけ、手をあわせる重症患者もいる。

神通川の流れは用水路に入って豊かに流れ込んでいる。
上流から時々「ニグス」（ゆのとぎ汁）みたいなものを流してくることがありましたっちゃ。神岡の山じゃろうと思うとりました。それでも神様のつかわらっしゃる川じゃからと夏の田んぼ仕事で汗流した時にゃうまいうまいと腹いっぱい神通川の水をのみましたがいな。」イ病で死んだ人間は400～500ともいう（家族の話、焼き場の話から割り出した数）それ以上かもしれない。

〈イタイイタイ病〉―諸関節等に刺痛を覚え、10数年も継続し、遂には挫傷、捻挫の様な軽い外傷により突然歩行不能となって臥床するに至り病床でのかすかな体動にも激痛に襲われ、日夜睡眠を妨害され症例に脊椎の左凹湾曲のために身長が30cmも短縮した例もあり肋骨だけで28ヶ所全身924ヶ所の骨折といった症例もある。

イタイイタイ病関係年表

昭和6　農間堆積場使用開始
15　富山県は助成金を出し水田水口に鉱毒を沈澱させる為の小型沈澱池を作らせる。
18.7.　農林省農業試験所技師小林純氏（現岡大教授）は神岡鉱業所より排出の汚毒水による農業被害状況を記した復命書」を省に提出。
23.6　農作物被害に対処する為、神通川鉱害対策協議会結成、
27.　稲の鉱毒禍に神岡鉱業所が増産
12.　災防費として農産物補償費300万円払う
32.12.　才に回県医学会で萩野医イ病鉱毒説発表
38.　厚生省は医務研究イ病研究委員会を文部省は機関研究イ病班を発足
41.　被害地区でイ病対策協議会を結成（小松義久委員長）
43.1.　富山県イ病対策会議（森田徳政会長）を結成
3.　患者、遺族28名三井金属鉱業を相手に慰謝料請求の訴訟（オ一次）を提起
5.　厚生省イ病を公害病と発表　吉田県知事これに難色を示す。

〈小松義久〉イタイイタイ病協議会会長
現在裁判斗争で闘かいている。なおし保障問題に於いにおいている。関が有る。「判例を残すことが全国公害を解決していく方向になるだろう。」「私は義理や人情でこの役目を受けているんじゃない。土地を改良し、イ病患者に保障金を勝ちとることは絶対必要なことです。」しかし屈折した位方をする農民をこの運動の中でどうしていくのか。三井に地べたに頭をつけさせることだけで良いのか。といった問いには何ら明らかな方法論は返ってこなかった。しかし、運動を押し進めていく政治力は抜群の才気あり、侠養会と銘うつことにより、党派を越えて人間を集め、それを最終的には決起集会にしてしまうといったすごわ、裁判官を住民の声を圧力により北況づけていくこと自治体との関係のもち方裁判闘争の為の人の動かし方はまさにおどろくべき力を示す。

昭和18年　小村純（岡大教授）が農業報国の実況を記した復命書を農林省に提出

岐阜県吉城郡神岡町

[illegible]
成っていまぼうされた道路が山麓に至るまで完備され，町中には
一つ落ちていない。小さい街に商店街が立ちならぶ通りが3本有り，
黒々とした雪国特有のしっかりとした小さな家並が立ち並び連っている。三井の資本はこの町をおおい　しかもしっかり根をはっている。
三井資本―木道設備，学校施設，鉄道施設，文化施設―都市会館 etc.

[illegible]
が町に入っていったなら　それを見た人間の一人が通報（一人ではないようだ）により警察から　じ人間される，という事がおこる。
「昼がつ（夕方）で知った人がしていた人だよ，町の人から知らせがあってね」町に根を張り動こうとしない人間にとって余り者は一目でわかる。犯者を排せきし自分の町を守る意識は強い。（町の税収入の今％が償却固定資産税と神岡鉱業員の町税でまかなわれている。）
昭和43年忠考，遺族が見舞料請求訴訟を起こした時商工会有志による神岡を守る会が出来た。住民（子供～大人）「いい町だ」と言う。このがっちりと支配された町においては犯罪さえも少ない。ただ「ち情」ざたが絶滅しないと言う。我々が入ったスナックで風から平気でわい談をしめやれっ様に久々の歓迎未だ）小学校の校長室には額ぶち入りの神岡鉱業所パンフレット
小推積場の山事務所には山台に住民達を立ちのがせて作った大規ぼなものが有り，山事務所の前には大きな沼のように広がっている。
[illegible]
[illegible]
[illegible]

〈企業〉三井金属鉱業　神岡鉱山

神岡人口約23000人　　60%以上神岡鉱山關係

明治44　創立
戦前は完備した堆積場もなく、水害の時等は、排水が直に流出し、水田の上に土じょうを残していく。
大正8　大水害
昭和18　小林純(岡大教授)氏農業被害状況を記した「復命書」を農林省に提出した。

岐阜県吉城郡神岡市

丸やかな高い山にかこまれた所に神岡の町が有る。町のはずれに三井金属株式会社神岡鉱業所が有る。風当りが強い山峰は木々が枯れはてはげ山に成っていて、ほそうされた道路が小道に至る迄完備され、町中はゴミ一つ落ちてはいない。小さい街に商店街が立ちならび通りが3本有り、黒々とした雪国独特のしかりとした小さい家並が立ち並び連っている。三井の資本はこの町なおおい。しかもしっかり根をはっている。三井資本―水道設備学校施設　鉄道(貨物)　文化施設―郷土会館 etc.

我々が町に入っていったなら、それを見た人間の一人が通報(一人や二人ではなさそう)により警察官から、じん問されるという事がおこった。「昼から(外で)さがしていたんだよ、町の人から知らせがあってね」町に根をはり働こうとしない人間にとってよそ者は一目でわかる。他者を入イセキし、自分の町を守る意識は強い。昭和43年患者遺族が慰謝料請求訴訟を起した時、商工会有志によみ「神岡を守る会」が出来た。住民(子供へ大人)「いい町だ」と言うこのびらびらりと支配された町において、犯罪さえも少ない。たゞ「ち情」さたが絶えないという。我々が入ったスナックで、昼から平気でいい談を、しめった肉の中で笑いながら話すウエイトレスと客。娘達のよそおいは、しゃれた服を軽やかに着こなしている。買物かごをさげた婦人達も小ざっぱりとしたいでたちでわずかのすきも見えない。鉱山従業員の一様に似たよそおい、ベイらくに染り小さなスナックへ…我々とすれちがう時のななめからめつきす様な目をしながら山に向う。鉱業所付近でのすれちがいごとに起る質問「どこから来た、何をしに来た、名前は何という、さっき似た感じ(我々の仲間をさす)の奴がいたが何者だ」

黒部　富山県黒部市

北陸有数の工業地帯といわれる黒部各地に公害が散在し、今年5月18日黒部カドミウム禍が最初されたのをかわきりに各地で問題が露呈された。石川県小松(北陸鉱山)福井県(日本鉱業中宝鉱業所)もカドミウム禍。工場からの煙の大気汚染による大気汚染の元凶、日本電工金沢工場から噴出される白煙塩素ガス(マンガン)

硫黄(福井)のセメント工場による大気汚染と、数多くの重金属汚染で悩まされている。後進県の開発、近代工業都市づくりのもとで企業誘致を積極的に進めてきた典型である黒部市。

黒部の公害源は日本軽金三日市製錬所。昭和28年に創立。創立当「親会がいう」「クリーンな軽金属工場」と住民の言を信じて迎えたが、S36年以降カドミウム精錬が加わってから、カドミウムを含んだ白い煙や廃液を出すようになった。また工場横に山積みしてあった排水処理した赤い物質がS36年7月の大水で周辺の水田に流出したのも有名なできごと。

昨年秋から「オイタイイタイ病」発生を恐れた県側は、その目的を明らかにせず三日市製錬所周辺の住民検診や土壌分析をしてきたが、その結果を公表せず、ひた隠しにしていた。今月13日新聞紙上でそれを知った住民は怒り、住民集会を開き、市と県に対しデータの全面公開と更に精密な分析、検査を申し入れた。調査の結果、白米から最高2PPM、平均1.3PPMのカドミウムが検出された。これは1病発生地域中期の平均1.0PPMを上回っている。また土壌からも同工場を中心に最高5.2PPMが検出され、杉の木の成長が止まり、稲をはじめ農作物がためになると学者は嘆く。カドミウムの集中は神通鉱毒事件よりも高い。これらのデータに基づき工場付近の地区を第1地区に指定され、作付中止となり、田植えを済ませたばかりの苗から稲を抜き取った。同時に住民の集団検診が始まるが、人数とこなすため、簡単なもの。厚生省は黒部市を新たに要観察地域に指定した。

「自分の作った米を食えない農民なんてどこにもいない。こんな屈辱をおかすか。そのうえじいちゃんは痛まで吸って寝たきりのため、て看病になるし、

「手足やのどのいたいところを直接に医師がみてくれると期待していたのに、これではカドミウム病にたすかるのが出来みたいだ」

「診察を受けに行きたいのだが、イ病の検査に行ったといわれるて娘の縁談にキズがつく」

検診結果には1病患者は出てこないが、腎臓障害やセキズイを訴える住民が相当数にのぼり、また火葬すると骨等すべてのカドミウムが遺骨から多量検出されたりなど、イ病予備軍の住民が滞在している恐れがある。無論、移住が実施されれば1病患者発生は必定。不安に苛立つ住民は、データを隠し続ける県や市はもうあてにならぬと、組長に課長補と招きた荻野医師のところへ駆け込んだ。

「もしもし荻野先生のはしくれ、カドミウムの知識はもっておるよ、だけど、

カネミライスオイル症

昭和45年3月20日現在 1,014名の患者が数えられているカネミライスオイル症[illegible]人の記録である。

昭和43年 3月中旬 (原因不明のまま)患者発生
福岡 400名 長崎 428名(五島列島 240名), 広島 高知 奈良 山口 鹿児島 佐賀 愛知 岡山 鳥取 兵庫 大阪 東京

11月 カネミ製油(北九州市東港町)製造の米ぬか油より

油症の原因とされた 脂化油 ライス オイル 検出

昭和44年 2月 [illegible] 生まれる
同 25日 午前7時 患者60人 雪の降るカネミ倉庫会社前に集まり

7月 油症中毒死亡

8月 カネミ社長ら3名 業務過失傷害 容疑で書類送検される
・業務上過失致傷
・不正競争防止法違反
・軽犯罪法違反

昭和45年 3月 起訴

4月6日 油症被害者の会 全国統一行動で会社と国に民事訴訟を決定

7月 新年度 油症関係予算 七口(厚生省)
業務上過失致死で起訴
同 24日 東京で

8月 四川地区(福岡県, 油症患者多発地域)一斉検診始まる
(昨年一斉検診のとき課が企業側に有利に使われた前例から

9月25日 第1回公判始まる。

〈油症の症状〉
①まず まぶたが腫れ目ヤニが出る。 ②口のまわりが ほおに ニキビのようなブツブツができて顔全体から首 背中に広がる ③目の腫れがひどくなり結膜炎のような症状。ニキビ様の跡が黒変し皮フやツメ全体の感覚が失なわれてゆく。ものがうまくつかめなくなる。

〈患者〉
カネミの原因とわかって以来、人々の記憶にと公害に関する新聞をスクラップにする趣味をもった女患者。
「油症にかかってから3年たちましたから、3度の花火大会がありました。最初の年は、子供がどうしても見に行きたいというので しかたなく出かけましたが 日傘で顔をかくして花火はまったくの見えしません。2年目は、やっぱり傘をさして顔をかくして行きましたが 時々目をむして見ました。3年目にやっと普通の人と同じように行けるようになった。これが 快復したとしたら こわいです」

熊本県水俣市 水俣湾 ある。

1908 日本カーバイド商会 → 日本窒素肥料株式会社 → 1950 チッソ株式会社

(S25) 日本カーバイド工業所 → 日本窒素(S40)

(S45) 日本合成化学工業

・日窒 ・日本 ・カ社

・当時の社長 野口遵は「技術の工業化は人間と思うな、牛馬と思って使え」

会前を所有矢吹 商い地帯の宅 トン数の半分自家 イカ場料る引 バ有工械あ半は 一元しが鳥田時 発前当

極度に(工場側が渡ってた)

債権者)と石灰ト社直 務所神」言わ

のくなりのイ 妻安有よ通バは 木に電に門一重

が不要になり石灰窒素の

提供、

水俣病

〈水俣病〉 ―― 手足のしびれ、脱力、言語障害、

神経症状 ―― 手足のしびれ、脱力、言語障害、

歩行・工場排水銀 ―― 有機水銀

S21 はじめる

S28 ちっそ(ちゃ) 31・3川灰モ おとて水俣

S31 流しヨトヨ をト

S32.33.34 S35

気 家スン会研 イカし目ヨラ 有も定部人通 ヨリあも定部人通 れ決元政学は 1 ぺ 1 ―→ 場 ―→ 入 ―→ 入 ―→ 排清か 風ボじ県所木 場病と中は本保 エ発病 とく熊水熊 水熊水

遠 ハリそれ ひっ 1 1 1

才二水俣病（新潟）

死亡者　6名、患者　36名（胎児性1名）、妊娠規制婦人50名、
10PPM以上の水銀保有者　100名

— 裁判までの経過 —

S.38. 秋　猫が突然酔ったようにフラフラ歩きはじめ、糸のように細くなった瞳は満月のように広がり、口からはヨダレを流し、後足で立ち上がったり、二、三尺（60～90cm）も跳び上がったり、障子を破り壁にふっかかり、火のあるいろりにまでとびこみ、遂には、全身ケイレンを起こして死んでいった。

S.39.6.16　新潟震災

40.1　今井一男さん、新潟大学、椿忠雄教授により、初めて有機水銀中毒（水俣病）と診断される。

9.6.15　新大、「死者5名、患者13名」発表

6.26　県衛生部調査結果発表、19220名中、205名が病状を訴える

6.30　阿賀野川流域の主婦団体マルタより出PPMのメチル水銀検出

7.8　新潟県民生部水俣病対策会議できる

7.12　阿賀野川下流の魚の販売を禁止

7.26　阿賀野川流域の児性水俣病対策決定、大量の水銀保有婦人に妊娠規制

9.11　厚生省、調査班を昭電にしぼる

9.22　新潟県、水俣病死亡者に10万円の弔慰金を贈る

11.9　鹿瀬町に住む63才の老女より170PPM検出

12.23　被害者の会結成

41.4.1　椿教授、日本内科学会で「工場廃液説」発表

7.12　昭電側、日本農薬説（指されたのは農薬がS.39の新潟地震で塩水とヒの現象で溶出したというもの）を出して反論

42.2.19　昭電安藤求償要求に対し「政府の結論でも絶対に服従しない」と公言

42.6.12　日本で始めての公害訴訟を提起

43.9.26　政府、昭電排液が原因と認めたことを認め、公害病として措置すると見解を発表。

44.5.21　椿教授、患者の一人、今井香吉さん（66）の発病日が、新潟地震の前の6.4と知る

45.2.1　阿賀野川流域の妊婦から生まれた児が胎児性水俣病と決定される。

〃.8　昭電が水俣病であると判断されていたのを知っていながら、排液を流したのは、殺人行為であるとし、「未必の行為」として刑事裁判を新たにおこしている。

朝日新聞より

新潟県新潟市一日市、津島屋、新崎

（水俣病）←メチル水銀化合物アセトアルデヒド製造工場（昭和電工鹿瀬工場）→メチル水銀化合物アセトアルデヒド製造工場（現在昭和電工鹿瀬電子工業）

水俣病及び水俣川水銀中毒症をめぐる動き

昭和電工鹿瀬工場は石灰石を原料に石炭窒素やアセトアルデヒドと硫酸を作り、副生物として水銀を含む廃液を阿賀野川に放流している。

1959年（昭和34年）9月　新潟地震で工場設備が破損、アセトアルデヒド製造を中止

1960年（昭和35年）12月　アセトアルデヒド製造を再開

1961年（昭和36年）1月　工場排水口付近の漁民に原因不明の中毒症状が発生

1962年（昭和37年）　工場排水口付近の漁民に原因不明の中毒症状が発生

1963年（昭和38年）　工場排水口付近の漁民に原因不明の中毒症状が発生

1964年（昭和39年）6月16日　新潟地震で工場設備が破損、アセトアルデヒド製造を中止

1965年（昭和40年）5月31日　新潟県衛生部が水俣病の発生を公表

1966年（昭和41年）6月12日　厚生省が水俣病の原因は工場排水中のメチル水銀化合物であると発表

1967年（昭和42年）9月26日　政府が水俣病の公害認定を行う

1968年（昭和43年）5月16日　昭和電工がアセトアルデヒド製造を中止

1971年（昭和46年）6月30日　新潟地方裁判所が昭和電工に対し損害賠償を命じる判決

1973年（昭和48年）3月31日　昭和電工が鹿瀬工場を閉鎖

1985年（昭和60年）　鹿瀬工場跡地の整備が完了

昭和電工鹿瀬工場は、石灰石を原料にカーバイド、アセトアルデヒド、硫酸などを製造する化学工場として1941年（昭和16年）に操業を開始した。

1959年（昭和34年）9月の新潟地震で工場設備が破損し、アセトアルデヒド製造を中止した。

1960年（昭和35年）12月にアセトアルデヒド製造を再開した。

1961年（昭和36年）1月、工場排水口付近の漁民に原因不明の中毒症状が発生した。

1962年（昭和37年）、1963年（昭和38年）にも同様の中毒症状が発生した。

1964年（昭和39年）6月16日の新潟地震で工場設備が破損し、アセトアルデヒド製造を中止した。

1965年（昭和40年）5月31日、新潟県衛生部が水俣病の発生を公表した。

1966年（昭和41年）6月12日、厚生省が水俣病の原因は工場排水中のメチル水銀化合物であると発表した。

1967年（昭和42年）9月26日、政府が水俣病の公害認定を行った。

1968年（昭和43年）5月16日、昭和電工がアセトアルデヒド製造を中止した。

1971年（昭和46年）6月30日、新潟地方裁判所が昭和電工に対し損害賠償を命じる判決を出した。

1973年（昭和48年）3月31日、昭和電工が鹿瀬工場を閉鎖した。

1985年（昭和60年）、鹿瀬工場跡地の整備が完了した。

…外科医に体なめるに…
…水銀を尿といっしょに…
…きぐるりとかえした。
…ヤつらこたえた男れた生だ。
…ときにおさけがだいすきね
…ものすごくかいて
…百限けおのまま
…五十戸合。バは。
…二合。ん
…食ぐ円。
…利尿剤を飲み、内がつもの
…つき坑内にこのくヤつらこたえた男れた生だ。
…敏さんは生」とのとたら往生
…仕事ったり大ごはんのとき
…夜ごすぐいば
…毎そう中村道雄君）

…ぎみ。
…のやり切れなさ、仕じ帰にや
…に突っ飲して宅にうけ
…の在よう
…ます。」（タ
…父みず

…ものを三ようにがる。
…ヨンお船チ朝ったの
…風ペ「っ聞いてを「でて

…ちぎれんばかり見る
…の風船、見
…した。
…いう。朝、坑内に入分と
…言いた。昼、夕ケ
…の時間が極楽だ
…は、それ以上の酒量

…ヨンお船チ朝ったの
…風ペ「っ聞いてを「でて
…ヨンお船チ朝ったの
…風ペ「っ聞いてを「でて